

## 第4学年 国語科

### 教科目標

- ① 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- ② 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てます。
- ③ 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら、読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てます。

### 学習計画

月	単元・題材名	曜	日	学 習 活 動
4	○ 物語をくふうして音読しよう ・ こわれた千の楽器  ・ 図書館へ行こう ・ 心の動きを文章に書こう ・ 漢字の読み方に気をつけよう	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。</li> <li>・ 図書館の配架と本の分類を知り、本の探し方を確かめる。</li> <li>・ 気持ちが伝わるように工夫して文章を書く。</li> <li>・ 漢字の音訓や送り仮名について理解する。</li> </ul>
5	○ だん落のつながりをとらえながら読もう ・ ヤドカリとイソギンチャク ・ 案内係になろう ・ わたしが選んだ今月のニュース ・ 漢字辞典の使い方を知ろう	21	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段落と段落の結び付きを考えながら読み取る。</li> <li>・ 相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話す。</li> <li>・ 出来事を分かりやすく報告する文章を書く。</li> <li>・ 漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用する。</li> </ul>
6	○ 人物の様子や気持ちを考えながら読もう ・ 走れ ・ メモの取り方をくふうして聞こう ○ 目的による表し方のちがいを考えよう ・ 広告と説明書を読みくらべよう	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心となる人物に気を付けて、様子や気持ちを考えながら読む。</li> <li>・ 事柄と事柄の関連に気を付けて話を聞き、工夫してメモを取る。</li> <li>・ 目的による表し方の違いを読み取る。</li> <li>・ 伝えたいことの中心を明確にし、文章の組み立てを考えて書く。</li> <li>・ ことわざや故事成語について知り、ことわざの意味を理解して使う。</li> <li>・ 読書への関心を高め、多様な本を読む。</li> </ul>
7	・ わたしの考えたこと  ・ 「ことわざブック」を作ろう	25	6	
9	○ 詩を読もう ・ ふしぎ ・ よかったなあ ・ 「今の自分」を話します  ・ お願いやお礼の手紙を書こう  ・ 文末の言い方に目を向けよう	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の様子を思い浮かべながら、詩を声に出して読む。</li> <li>・ 伝えたいことをはっきりさせ、材料を選んで話す。自分と比べながら聞く。</li> <li>・ 目的に合わせて書くことを選び、依頼状や礼状などの手紙を書く。</li> <li>・ 文末表現には、話し手や書き手の判断や物事のとりえ方が表れていることを理解する。</li> </ul>
10	○ 人物の気持ちの変化を考えて読もう ・ ごんぎつね  ・ 連詩にちょうせんしよう ・ 文の組み立てを考えよう	21	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の移り変わりに気を付けて、人物の気持ちの変化をとらえる。</li> <li>・ 言葉から想像を広げて、詩を作る。</li> <li>・ 主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成をとらえる。</li> </ul>
11	○ 暮らしの中の世界について調べよう ・ 暮らしの中の和と洋  ・ みんなで話し合っ	18	2	
12	○ 取材したことをもとに学級新聞を作ろう ・ みんなで新聞を作ろう  ・ 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう	14	4	

1	○ 家族やふるさとを思う心をえがいた本を読もう ・ 世界一美しいぼくの村  ・ 「百人一首」を声に出して読んでみよう  ・ 目的に合わせて書こう	20	4	・ 家族やふるさとを思う心をえがいた、いろいろな本を読む。 ・ 短歌を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。
	○ 調べたことをポスター発表で報告しよう ・ 報告します、みんなの生活  ・ 同じ読み方の漢字に気をつけよう	14		・ 伝えたいことに合わせて必要な資料を選び、伝える内容や形式を考えて文章を書く。 ・ 調べたことを整理して、ポスターを使いながら順序よく報告する。 ・ それぞれの漢字には意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分ける。
2	○ わたしたちの生活とロボットについて考えよう ・ 「ゆめのロボット」を作る  ・ 「十さいのわたし」文集を作ろう  ・ 漢字を使って読みやすい文を書こう	20	4	・ 筆者の考えがどんな言葉で表されているかに注意して読み、文章を読んで考えたことを理由や例を挙げながら書く。 ・ 1年間の思い出や未来の自分への手紙を書き、文集にまとめる。 ・ 漢字の良さを知り、漢字と仮名を用いた表記に関心を持つ。
	○ 様子が分かるように音読げきをしよう ・ 木竜うるし(人形げき)	12	2	・ 場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読劇をする。
授業時数の合計		210時間		

### 国語科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたり書いたり、幅広く読書したりしようとしているかどうかという観点から見ます。	・ 学習態度 ・ 学習中の応答 ・ 発表内容・発表の様子
話す・聞く能力	相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり進行に沿って話し合っているかどうかという観点から見ます。	・ 聞き取りメモ ・ 取材カード・原稿内容 ・ スピーチ発表
書く能力	相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書いているかどうかという観点から見ます。	・ ワークシート ・ 作文・感想文・説明文
読む能力	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読んでいるかどうかという観点から見ます。	・ 音読の様子 ・ 国語ノート・ローマ字ノート
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書いているかどうかという観点から見ます。	・ 書写ノート・漢字ノート ・ テスト・漢字ドリル など総合的に評価します。